

競技注意事項

1 競技規則について

本競技会は2026年度日本陸上競技連盟規則、並びに本競技会要項及び競技注意事項（本注意事項）により実施します。WRk(ワールドランキング)対象競技会であるため一部、WA規則が適用されることがありますので競技注意事項で確認してください。本競技会要項により参加するパラ競技者についても競技規則の適用は同様とします。ただし第2部の車いすの部及び、障がい特性により特別な配慮がされる立位競技者に対しては、2026World Para Athletics(WPA)競技規則(最新)によります。パラ競技者についてはスタートリストの氏名の前に競技クラスの注記があります。

パラ競技者で、IPC登録しておりステータスがCもしくはRの記録はWPA公認となります。ステータスがCもしくはR(有効期限内)の記録はWPA世界記録およびアジア記録の対象となります。対象者の氏名の後ろには(＊)印があります。(v)はVirtus登録者となります。

2 競技場の入退場と受付について

競技場の入退場口は競技者、チーム関係者、メディア関係者、観客すべて競技場1階のBゲートのみです。

競技場1階には競技者受付、総合案内所、スタンド(観客席)、協賛社による体験コーナーがあります。

競技場地下2階には、招集所、TIC、室内練習場、更衣室、PECエリア、トラックがあります。

(1)競技場への入退場口は原則、Bゲートのみとしていますが、事前申請を行った車いす使用者等の車両はP3ゲートから入場し指定されたエリアに駐車してください。

(2)入場開始時刻は、21日(月)は11:00、22日(火)は10:00とします。

(3)1階Bゲート横に設置する競技者受付にて団体(所属)ごとにアスリートビブス・IDカード・プログラムを受け取ってください。P3ゲートから入場する車いす競技者は、地下2階の指定エリアに駐車した後、エレベーターを利用して1階Bゲートの受付まで移動します。

(4)競技者には「選手ID」、原則、所属ごとに1枚の「コーチ付き添いID」を支給します。複数枚必要な場合は受付で申し出てください。パラ競技者のガイドランナーとアシスタントも「コーチ付き添いID」を使用します。競技場内では常にIDカードを着用してください。

(5)IDカード着用者のみ指定の階段またはエレベーターを利用して地下2階の室内練習場に行くことができます。IDカードの無い方は、1階のスタンド(観客席)での応援となります。

(6)トラックを含む競技実施エリア(FOP)にアクセスできるのは、招集を終えた競技者とビブスを着用したパラ競技者のガイドランナーとアシスタントのみです。競技を終えた競技者は、GATE 2から退場し、室内練習場に戻るか、指定の階段かエレベーターで1階観客席

に上がってください。トラック競技者はトラック以外の場所でのスパイク着用は認められません。GATE2でアップシューズに履き替えてください。 _

(7)総合案内所（競技者受付横）にてプログラムの販売（1部500円）を行います。 _

(8)プログラムに記載ミス（氏名、学年、所属等）があった場合には、受付時または出場する競技の2時間前までに地下2階GATE5裏の室内練習所近くにあるTICに申し出てください。なおプログラムの記載事項は、申込の際に送信されたデータをそのまま使用しています。 _

3 ウォーミングアップについて

ウォーミングアップはすべて競技役員の指示に従い、指定された場所・時間の範囲内で事故防止に万全を期して行ってください。競技運営上、安全管理上、一時的に制限することもあります。立位競技者は室内練習場で実施してください。リングロードでのウォーミングアップは厳禁です。また競技者が競技場内の芝生に立ち入ることは一切できません。 _

(1)21日(月)は11:00～12:00（ホームストレート及びバックストレート）競技場のトラックでの練習が可能です。内側1～4レーンは車いす競技者、外側6～9レーンは立位競技者用とし、5レーンにコーンを置いて仕切ります。 _

(2)立位競技者は室内練習場でウォームアップをおこなってください。室内練習場では安全のため、監督コーチは練習場内の柱の後ろで待機してください。 _

(3)トラック種目の車いす競技者はローラーを持参することを推奨します。車いすの200m以上の種目では競技前にスタート地点まで半周～1周のウォーミングアップ走行が可能です。 _

(4)投てき練習は競技開始前におこないます。競技場との申し合わせにより、立位のやり投の練習投てきは2回のみとします。 _

4 各種書類について

「欠場届」「上訴申立書」の配布および受付は「TIC」にて行います。（TICはGATE5奥側、室内練習場の近に設置します。

「重複出場届」「リレーオーダー用紙」の配布および受付は「招集所」にて行います。 _
パラ競技者を対象に、上記に加え、「リクエスト・フォーム（ルールにないアシスタントの入場など）」の配布および受付は、「TIC」にて行います。また、「補助申請書（スターティング・ブロック設置申請、マーカー設置申請等）」「競技者・ガイドランナー _スタート位置申請書」の配布および受付は「招集所」にて行います。 _

5 招集について

(1)招集所はGATE5奥側に設けます。 _

(2)各競技の招集開始時刻・招集完了時刻は、タイムテーブルに記載通りとします。トラック種目では組ごとに招集時間が異なるのでスタートリストで事前に確認してください。

(3)招集の方法 _

①競技者は定められた時間内(タイムテーブル参照)に招集所で競技役員による招集を受け

てください。

その際、アスリートビブス・靴・スパイクピン・商標のチェックを行います。また、トラック競技に出場する競技者・チームは腰ナンバー標識を受け取ってください。 _

②ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込むことはできません。それら禁止物品については招集所にて一旦預かり、TICにて返却します。

③代理人が招集を受けることは認めず、招集完了時刻を超えた場合には、当該種目を棄権したものとして処理します。 _

(4) 2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が、招集所（競技者係）に備え付けの「重複出場届(2種目同時出場届)」に記入し競技者係に提出してください。 _

(5) コーチや付き添い者の招集所への立ち入りは認めません。また、招集所入り口付近の混雑を避けるため特に支障のないかぎり競技者を送り届けた後はその場にとどまらず、直ちにスタンド等へ戻るよう努めてください。 _

(6) パラ競技者は次の点についても注意してください。 _

①T11, T12の競技者で、400mまでのトラック種目においてガイドランナー（伴走者）を伴う場合は、招集時に「選手・ガイドランナー _スタート位置申請書」を提出してください。左右どちらを走るかを事前申告する書式です。

②パラ競技者は通常の検査項目に加えて、車いす競技者はレーサー、ガイドランナーやアシスタントが帯同する場合には専用のビブス（各自で準備）のチェックを受けてください。ガイドランナーおよびアシスタントへのビブスの貸し出しはしません。各自で用意したビブスを着用してください。ビブスの用意ができない者へは販売します。 _

③両足義足使用の競技者(T61, T62)は、招集時にMASH（最大許可身長）の計測を行います。

6 アスリートビブス（ゼッケン）について _

(1) アスリートビブスは、1名につき2枚配布します（胸・背用）。 _

(2) アスリートビブスは、交付された大きさのまま付けてください。ただし、跳躍競技は胸・背いずれかに付けるだけでも構いません。 _

(3) トラック種目では、招集所で配布された腰ナンバー標識を右側の腰に確実に付けます。ガイドランナーも同様です。ただしリレーでは最終走者のみ着用とします。車いす競技者はヘルメットの右側に付けます。 _

(4) 車いす競技者は、背用を車いすの後部に付けます。（レーサー使用の選手においては、胸用は付けなくても構いません）。 _

7 競技実施エリア(FOP)の入退場について _

(1) 競技実施エリア(FOP)への入場は、招集所で手続きを終え競技役員に誘導された競技者、ガイドランナー、アシスタントのみ可能です。競技実施エリア(FOP)への入退場はすべて競技役員の指示・誘導に従ってください。 _

(2)招集所から競技実施エリア(F0P)へは、競技役員の誘導で、地下2階GATE5から入場し、スタート地点または競技実施場所まで移動してください。 _

(3)退場口は、50mを除き、フィールド種目も含めすべての種目でフィニッシュ付近のミックスゾーン (GATE2) のみとします。GATE2の外側PEC (ポストイベントコントロール) エリアを出た後は、リングロード (車が通行する裏道) を通って室内練習場に戻るか誘導案内表示で指定された階段かエレベーターを利用して1階のスタンド (観客席) に移動してください。 _

50mについては、フィニッシュ後F0P (スタンドに近い) を100mスタート付近まで歩いて戻り、自身の荷物を受け取り、スタンドと繋がっている階段を上がり1階のスタンドに移動します。

(4)トラック種目に出場する立位競技者の荷物は、招集所から協賛社ボランティアがミックスゾーン (GATE2) の先のPEC (ポストイベントコントロール) エリアに運搬します。スパイクはPECで履き替えてください。スパイクでトラック以外の場所を通行することは禁止されています。

(5)競技を終えた競技者のために、特別協賛社の長瀬産業が中央ホール(通称：ANDONホール)にアスリートラウンジを設置します。飲料や軽食などが無料で提供されます。リングロード側から入場できますのでぜひご利用ください。退場口からの動線は壁に貼ってある誘導案内でご確認ください。

8 更衣室について _

(1)室内練習場の更衣室が使用できます。更衣室では更衣のみ行い、盗難等の防止のため荷物は置かないでください。無料のコインロッカーが利用できますが数に限りがあります (男女各84個)。

9 競技について _

【第3部の小学生の部50mおよび100m】 _

(1)立位の50mおよび100mはスターティングブロックは使用しません。男女一緒に実施し、持ちタイムもしくは申告された目標タイム順に組み分けをおこないます。記録無記入の場合、最後の組に振り分けます。 _

(2)立位のスタートはクラウチングでもスタンディングでもかまいません。 _

(3)トラック競技のスタート動作の指示は英語で行います。同一競技者が2回不正スタートをした場合は失格とします。ただし競技には参加させて記録は参考記録とします。 _

(4)スパイクを使用する場合、ピンの長さは9mm以内とし、数は11本以内とします。厚底シューズの規程TR5は適用外とします。 _

(5)車いす/フレームランニングの100mに適用する規則は、WPA規則に準じます。 _

第3部以外の全競技者対象 _

《トラック》 _

(1)日本陸連登録者の部と日本陸連未登録の部は別レースとなります。 _

(2)スターティングブロック必須の種目(100m、200m、400mとリレー)では、スタートインフォメーションシステム(SIS)を使用します。 _

(3)聴覚障がい者が出走する組では光刺激システムを使用します。 _

(4)スタートリストの組み分けは、エントリー時の持ち記録の順とし、障がいの有無や障がいの程度に関係なく編成します。記録無記入の場合、最後の組に振り分けます。 _

(5)立位の男子1500mはスタート後10分でレースを打ち切ります。

(6)立位の男子5000mはスタート後30分でレースを打ち切ります。 _

(7)招待リレーのオーダー用紙は招集完了時間の1時間前までにTICに提出してください。

《フィールド》 _

(1)走幅跳は、視覚障がいのある競技者(T11/T12)とそれ以外の競技者とで別に競技を実施します。 _

(2)距離のフィールド種目(=走幅跳とやり投)は男女一緒に競技し、3回の試技の後、男女別の記録上位者はさらに3回の試技ができます。やり投でさらに3回の試技対象となるのは一般の重量(男子800g、女子600g)を使用した競技者のみです。 _

(3)投てき用具は、以下の規格を使用しますが、第1部では申告により異なる重量で競技することができます。 _

①第1部(陸連登録者の部・立位) _

やり投 _男子：800g、女子：600g

【パラ種目の主要規則の確認】

(1)両足義足使用の競技者(T61, T62)は、招集時にMASH(最大許可身長)の計測を行います。

(2)T11, T12のレーンを用いるトラック種目では、ガイドランナー(伴走者)の有無にかかわらず2つのレーンが割り振られます。なお、ガイドランナーを伴う場合は、SIS誤感知を防ぐため、招集時に申請した並び(右か左か)に従ってください。 _

(3)レーサーの検査は招集時に行いますが、スタート地点もしくは競技場所ですべて再検査を行うことがあります。 _

(4)車いす/フレームランニングの競走競技に出場する選手は、ヘルメットを着用しなくてはなりません。 _

(5)アイマスク、アイパッチ _【パラ競技者対象】 _

T11の競技者は、完全に光を遮断し隙間なく顔に密着する不透明な眼鏡、アイマスクまたは適切な代用品、およびその下に「アイパッチ」を着用して競技しなければなりません。検査は招集時に行いますが、スタート地点、並びにフィールド競技場所ですべて再検査を行う必要があります。 _

(6)ガイド、およびアシスタント _【パラ競技者対象】 _

①ガイドランナーおよびフィールド種目のアシスタントは、各自で用意したビブスを着用します。ビブスは招集時にチェックされ、許可されたもののみ着用可能です。 _

②T11, T12の競技者とガイドランナーは、常にテザー(ガイドロープ)でつながっていません。

てはなりません。違反した場合は失格となります。 _

③T11, T12のガイドランナーが競技者の推進を助ける助力を加えた場合、またフィニッシュ時に競技者が先着しなかった場合には、ガイドランナーによる違反として競技者は失格となります。 _

④T11, T12の跳躍競技においては、アシスタントを同行させることができます。T11の跳躍は2名以内、それ以外は1名です。アシスタントは、ルール上支障がない限り競技者を誘導することができますが、競技成立以前に「砂場」に侵入し競技者を誘導した場合は、アシスタントによる違反となり、その試技は無効試技となります。 _

⑤T12, T20, T35-38, T42-47, T61-64のトラック競技においては、招集時にスターティング・ブロックの位置を示す指定の「補助申請書」を「招集所」に提出することにより、競技者に代わり競技役員がスターティング・ブロックを設置することができます。

⑥T20, T35-38, T42-47, T61-64の走幅跳においては、招集時に助走路に置くマーカーの位置を示す指定の「補助申請書」を提出することにより競技者に代わり競技役員がマーカーを設置することができます。

(7) フィールド競技 _

①視覚障がいのあるT11, T12走幅跳においては、1m×助走路幅に白色で記した区域を踏切エリアとします。走幅跳では着地区域から1mの位置が最先端となるように設置しますが、状況により踏切位置を調整することがあります。 _

10 競技用靴について _

(1)スパイクピンの長さは、9mm以内とし、走高跳・やり投は12mm以内とします。いずれの場合もスパイクピンの数は11本以内とします。 _

(2)小学生を除き、第1部だけでなく第2部もTR5(靴底の規則)が適用されます。シューズはWA承認済みのモデルのみ着用が認められます。レース後、違反が判明した場合、審判長権限で失格となることが競技規則に明記されているので十分注意してください。承認の有無については参加者の責任において事前にWAのリンクで確認して競技会に臨んでください。出場する種目(Track, Jump, Throwのいずれか)に「Y」とあるのが承認済みのシューズです。 _ <https://certcheck.worldathletics.org/FullList>

(3)パラ競技者で障がい特性により医療目的の中敷き無しでは競技が困難な競技者は、TICにリクエストフォームを提出し許可を得てください。 _

11 用器具について

(1)競技用器具は、主催者が用意したものに限ります。 _

本大会はWRk(ワールドランキング)対象競技会であるので投てき物は日本陸上競技連盟検定品であるだけでなくWA認証も必要です。 _

「やり」は、主催者が用意した投てき用具としてリストにないものは2個まで個人所有のもの(WA認証品でかつ日本陸上競技連盟検定品のみ)が持ち込み申請でき、検査に合格した物に限り主催者が借り上げ、競技者全員が使用できるものとします。

(2)「投てき物」の持込を希望する競技者は、招集開始時刻の90分前までに、地下2階 GATE5奥のTICに「投てき用具検査申請書」とともに「投てき物」を提出してください。受け付けた「投てき物」については、「預り証」を発行します。競技終了後にTICで「預り証」を確認のうえ返却します。 _

(3)事前に宅配にて送付されたレーサーはGATE5裏の「招集所」脇に保管されます。 _

(4)レーサーの送付先は以下となります。

競技用車いす(レーサー)や荷物等の送付先

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町10-1 MUFGスタジアム(国立競技場) 気付

NAGASE カップ陸上競技大会出場 ○○○○(参加者氏名) 宛

※送付について、到着日を9月20日(日)と指定し、午後13時~17時まで必着で手配してください。

要項に記載がありますがGATE5奥の「招集所」脇に保管しますので各自で取りにおいでください。返送する際は、GATE3のタクシールール脇の指定場所に運び入れてください。ヤマト便と佐川急便の着払いのみ対応可能です。返送用の送り状は各自で持参し、宅配業者への集荷依頼の連絡は各自でおこなってください。22日(火)~24日(木)のいずれかの日の集荷と指定してください。 _

(5)パラ競技者は、不透明な眼鏡、アイマスクまたは適切な代用品、アイパッチ、テザー及びガイドランナー、アシスタントのビブスは各自で用意してください。主催者による貸し出しは一切行いません。持参忘れ、破損や規則に合致せず使用できない場合は、WPAルールによりDNS(欠場)として扱います。 _

12 クラス分けについて _【パラ競技者対象】 _

パラ競技者を対象としたクラス分けについて、国内クラス分けステータスが「C」または「R有効期限内」による記録は日本記録の対象となります。 _

国際クラス分けステータスが「C」または「R」による記録はWPAランキングの対象となります。国際クラス分けステータスが「C」または「R有効期限内」による記録は世界記録及びアジア記録の対象となります。 _

13 ドーピング・コントロール・テストについて _

①本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会です。 _

②本競技会参加者(18歳未満の競技者含む。以下同じ)は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなします。18歳未満の競技者については、本競技会への参加により親権者の同意を得たものとみなします。 _

③本競技会に参加する18歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携帯してください。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構(JADA)のウェブサイト(<https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>)からダウンロードできま

す。18歳未満の競技者は、ドーピング検査の対象となった際には、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出してください。なお、親権者の同意書の提出は18歳未満時に1回のみで当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出てください。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査終了後7日以内にJADA事務局へ郵送で提出してください。親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続きに一切影響がないものとします。 _

④本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意してください。 _

⑤競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動 _ 終了後2時間の安静が必要となるので留意してください。 _

⑥日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト（<http://www.playtruejapan.org>）にて確認してください。 _

※TIC脇に参加者を対象としたドーピング相談カウンターを設けます。 _

14 抗議と上訴について _

競技の結果または競技進行中に起きた競技者の行為に関する抗議は、競技結果が電光掲示板で正式発表されてから30分以内に、競技者自身または代理人あるいはチームを代表する者が地下2階GATE5裏のT I Cに申し出てください。審判長が再度検証し、担当総務員を通じて裁定を伝えます。この裁定に不服がある場合は、「上訴申立書」に記入のうえ、預託金（2万円）を添えT I Cに申し出てください。

15 製造会社のロゴやマークのついた衣類やバッグ類等について _

(1)競技エリアに製造会社のロゴやマークのついた衣類やバッグ類等を持ち込む場合、「競技会における広告および展示物に関する規程」を遵守してください。競技役員から指摘された場合は、その指示に従い、必ずテープ等を貼って隠してください。 _

(2)本大会では、パラ競技者に関してはWPA規則を適用することから、スタンドでの個人名を記した応援用のぼり、旗の掲出・展示は国際規則に準じて認めます。ただし他の観客の視界の妨げとなる場合は移動または撤去いただきます。企業名については主催者が特に認めたもの以外は認められません。 _

(3)応援において、周囲の観客へ応援グッズを配布すること、応援グッズに所属企業名（スポンサー名）の露出をすることを禁止します。（ただし、本競技会スポンサーはその限りではありません）。 _

16 表彰について

パラアスリートを対象に、WPA及びVIRTUS世界記録樹立者には、NAGASEプライズとして特別協賛の長瀬産業株式会社から賞金（20万円）が贈られます。またWPAアジア記録樹立者には賞金（10万円）が贈られます。伴走者がいる種目での世界記録樹立の場合は、伴走者に対しても賞金（10万円※）、アジア記録では賞金（5万円※）が贈られます。※5000mで伴走者が2名の場合は、2名でこの賞金額となります。パラリンピック種目以外は半額となります。

第1部の各種目で男女各1位となった選手に賞金（ギフト券3000円相当）が贈られます。

17 一般注意事項

- (1) トレーナブースは開設しません。
- (2) 競技結果および番組編成リストは電光掲示版での発表でご確認ください。
- (3) 希望者には記録証を1部500円で発行しますので両日ともに18:00までに、TICへ申し込んでください。競技後、TICでお渡しします。郵送は行いません。
- (4) プログラムに誤記がある場合は、出場する競技の2時間前までにTICに申し出てください。なおプログラムの記載事項は、申込の際に送信されたデータをそのまま使用しています。（受付用紙はTICに置きます）。
- (5) 欠場する場合には欠場届をメールにて提出お願いします。欠場届は、日本パラ陸上競技連盟ホームページからダウンロードしてください。

<https://para-ath.org/events/01-1/20260718-001-848>

提出先アドレス：ketsujo@para-ath.org

- (6) 領収書は希望者に対しTICで発行します。対応時間は両日ともに18:00までです。
- (7) 悪天候により競技を一部中断もしくは中止することがあります。
- (8) NAGASEプライズ贈呈にあたり、プログラムやスタートリスト、リザルトで扱うパラ種目（WPA及びVIRTUS）記録の世界記録、アジア記録については、2026年9月10日時点のものです。
- (9) 撮影についてのお願い：悪質な写真・ビデオの盗撮から競技者を守るため、本大会中撮影が許可されるのは下記の者に限ります。
 - ・大会運営本部より許可され、腕章またはビブスを付けたカメラマン
 - ・出場競技者の学校、クラブ等の関係者や保護者、家族等
 - ・大会事務局

また、撮影禁止区域が設定されている場合は、その区域からの撮影はできません。

なお、場合によっては、上記に該当するか確認することがあります。

- (10) 大会期間中撮影した画像・映像は、主催者および協賛社の広報、またその他陸上競技普及に関する広報に使用することがあります。

- (11) 応急処置、その他健康上の問題が生じた場合は医務室に連絡してください。ただし、大会では応急処置しかできないので、参加にあたっては医師の診断を受けるなど、自

己の責任において健康と安全に十分留意してください。なお、主催者において期間中の傷害保険に一括加入しているため、この保険が適用される場合があります。

(12)救急車などの緊急車両を手配する事態が起きた場合は、一刻を争う事態でない限り競技会運営本部および競技場側を通じて行うものとします。

(13)競技場の観客席の開門は21日(月)11:00、22日(火)10:00、閉門は競技終了後30分とします。

(14)貴重品及び荷物は各自で管理してください。万一の事故があっても責任は負いません。室内練習場内にある更衣室には無料のコインロッカーがありますが数に限りがあります(男女各84個)。

(15)届けられた遺失物は競技者受付(総合案内所)で競技終了まで保管します。それ以降は、すべて競技場による保管となります。

(16)競技場の環境美化に協力してください。スタンド(観客席)にゴミ箱の設置はありません。各自出したゴミは持ち帰ってください。

(17)やむを得ず欠場する場合は欠場届を提出ください。事前の提出はメールにてお願いします。

欠場届連絡用アドレス：ketsujo@para-ath.org

18 その他ご案内

(1) コンコースでは特別協賛社による様々な体験会が実施されます。観客、参加選手、どなたでも参加できます。ぜひご参加ください。

(2) NAGASEカップの記録結果携帯速報サイトをご利用ください。

競技終了後に、次のサイトにアクセスすれば、ご覧になれます。

<http://gold.jaic.org/jaic/member/tokyo/top.htm>

QRコードもご利用ください。

競技会コード：26130008 競技場コード：131040

